

第22回 物流環境大賞 受賞 7社共同の取り組み

一般社団法人日本物流団体連合会が主催する「第22回 物流環境大賞」を受賞いたしました。1都14県で店舗ごとに行っていた空ダンボールの回収について、回収拠点を5か所に集約することにより、大幅なCO2排出量の削減を実現しました。また、段ボール箱輸送の際に使用する6輪カートに被覆部材を使用することで、一度の回収量が大幅に増加しました。



受賞企業

株式会社ベイシア、河村商事株式会社、株式会社日本アクセス、株式会社関東デイリー、南日本運輸倉庫株式会社、株式会社ケーター、昌和商事株式会社

取り組みを行った背景・目的

店舗の作業面では、棚前で商品を取り出したあとの段ボールを6輪カートに載せて店内を移動し、バックヤードで改めてカゴ車に移し替える手間の削減が課題でした。同様に物流面では、商品を下ろした配送トラックは空のカートを積んで流通センターに戻っていましたが、帰り便の有効活用が課題でした。これらの課題を解消し、同時にCO2排出量の削減や省力化の実現を図るため、共同による取り組みに至りました。

取り組みのポイント

- ① 6輪カート用のムササビシートを使用することで1度に回収できる段ボールの量が大幅に増加。これに伴い店舗での段ボール管理作業が効率化されました。
- ② 1都14県で店舗ごとに行っていた空の段ボール回収の拠点を要冷センター5ヶ所に集約。段ボールを各店舗へ回収に行く手間が省け、効率化につながりました。
- ③ 取り組みを行うことで大幅なCO2削減を実現。環境保全にも寄与しました。